



なかよし塩川

第6号

文責：教頭（伊藤）

多くのご参観をいただき、音楽会が行われました

10月10日（金）、学校運営委員の皆様と多くの保護者の皆様にお聞きいただく中で、音楽会が行われました。「聞いている人に練習の成果を生かして一番良い発表を届けたい」という思いが子どもたちの姿から伝わったのではないかと思います。今年は外部講師として剣持先生にもご指導をいただきました。また、お家でも温かい声かけをしてくださったり、アドバイスをいただいたりと多くのご協力をいただいたとお聞きしています。ありがとうございました。



4学年 長野市社会見学へ

9月30日、4年生は長野市社会見学にバスで出かけました。県庁では、まず議場について傍聴席に座って、部屋のつくりや議会の仕組みについて学びました。その後、グループごとに県庁で働いている方から、各課で取り組んでいる仕事の話を聞いたことで、どのような場で県政が進められているのかを肌で感じることができました。善光寺では、まずお戒壇巡りを経験しました。真っ暗な回廊を進み、鍵を見つけて無事出られた時は、多くの子がほっとした表情を見せていました。山門の鳩字の「善光寺」の中に鳩を探した後、仲見世通りで、お土産の買い物を楽しみました。県立美術館では、ワークシートを手にお気に入りの作品を見つけて、絵を真似して描いたり感想を書き込んだりしながら熱心に鑑賞していました。1番人気は、彫刻の周りに霧が広がる霧の彫刻でした。天気にも恵まれて思い出に残る一日になりました。



3年生 社会見学（ハム工場と美術館へ）



10月3日に、3年生はハム工場と美術館の見学に出かけました。工場では、お肉が羊の腸の中に詰められウィンナーになる様子に熱い視線を送っていました。工場の方の話をメモするのはもちろん、積極的に質問をする姿も印象的でした。美術館では、お気に入りの絵画名をしおりに書き込む姿や授業で扱った作品を見つけて話題にする姿が見られるなど、興味をもって見学してくることができました。

2年生 遠足（小諸懐古園～佐久子ども未来館へ）

10月15日には、2年生の遠足がありました。2年生は、大屋駅から電車に乗って小諸の懐古園を楽しみ、そこからバスに乗って佐久の子ども未来館で学びました。大屋駅での切符の購入も事前学習が生きてスムーズに行うことができました。懐古園の遊園地では一人4回のチケットを手に、乗り物を楽しみたくさんの笑顔が見られました。子ども未来館では、体験を楽しんだりスタンプラリーを楽しんだり、とても楽しく充実した遠足となりました。



1年生遠足（音楽村へ）



10月17日に1年生の遠足がありました。秋晴れの天気の下、音楽村まで歩いて行ってきました。音楽村への道中である丸子北小でやぎさんとふれあいました。やぎさんを見て子どもたちは大喜びでした。音楽村では、バラ園で昼食を楽しく食べて、どんぐり拾いや昼食後の遊びを元気いっぱい楽しみました。帰り道の最後の上り坂は、暑さや疲れもあり、休憩を何回かとることはあったものの、無事に楽しく行ってくることができました。

金管バンドによる塩川敬老園訪問

10月21日の放課後、金管バンドで塩川敬老園を訪問しました。敬老園では多くの皆さんが心待ちにしてくれていました。演奏した曲目は、「茶色の小びん」「A Whole New World」です。演奏が始まると、体でリズムを楽しまれている方もいて、子どもたちも気持ちよさそうに演奏していました。アンコールの声もいただき、「ハッピーバースデー」を演奏しました。



実りの秋～稲刈り～



10月22日には、5年生の稲刈りが行われました。雨天が心配される中、気温こそ低めでしたが天気に恵まれ、稲刈りを行うことができました。講師の方に稲の刈り方を習い、子どもたちは稲を黙々と鎌で刈る姿が見られました。機械でも刈っていただき、稲が刈れた後は脱穀をしてもらうために稲をもって並び、コンバインで脱穀をしてもらいました。収穫祭は、お米作りでお世話になった方々を招いて行われる予定となっており、どんな風にお米を味わうかが、早速話題になっていました。

連合音楽会で響かせた「明日の空へ」

10月24日には、連合音楽会がありました。6年生はお昼前にサントミュージゼに向かい、お昼を食べて、ステージに立ちました。歌った曲は音楽会でも美しい声を響かせた「明日の空へ」。音楽会の経験を経て、サントミュージゼのステージでも堂々と歌い上げることができました。歌詞に思いがのった心に響く歌声でした。帰校した子どもたちの表情は笑顔にあふれていました。



「FAタイム」に関わってのお願い

11月25日からスタートする「FAタイム」に向けて、3～6年生の子どもたちは、現在、「FAタイムの計画」に取り組んでいます。調べて、計画をしてFAタイムを迎えてほしいと思います。例えば、何かを作る場合でも、取り組むことによって、複数回分の材料が必要になる場合もあると思います。願いに近づく、願いを達成するためには、実際に挑戦してみて、試行錯誤を繰り返すことも大切な要素だと考えます。何かを確かめるにしても、多角的・多面的に確かめて、その良し悪しを実感する機会にしてほしいと願っています。FAタイムの活動は、子どもたち一人ひとりの願いが「はじめの一步」となり、使う材料や道具を準備するため、お家の方にもご協力をいただいての活動となります。10月31日までに計画を立てることになっておりますので、是非、子どもたちがどんな願いをもって何に挑戦するのか聞いていただき、材料や道具の準備の相談に乗っていただければと思います。ご理解とご支援をよろしくお願いします。